

# 荒川区芸術文化振興プラン（素案） パブリックコメントの実施結果について

## 1 募集期間

平成30年12月21日（金）～平成31年1月17日（木） 28日間

## 2 対象

区内在住、在勤、在学の方  
区内に事業所、事務所を有する個人及び団体  
本計画により影響を受ける個人及び団体

## 3 実施方法

区報（12月21日号）及び区ホームページで本パブリックコメントを周知したほか、素案を区ホームページに掲載するとともに、区役所文化交流推進課、情報提供コーナーにて、閲覧に供しました。

## 4 意見提出数

提出者：5人 意見数：7件

## 5 意見の概要及び意見に対する区の考え方

：プランに反映する... 0件  
：既に盛り込まれている... 4件  
：意見・要望としてお聞きする... 3件

	意見の概要	区の考え方
計画全般に関する意見		
1	荒川区芸術文化振興プラン（第三次改定版）について概ね賛成である。	素案に対して評価をしていただき、ありがとうございます。区ではこれまで、区民の皆様の主体的な芸術文化活動を支援するため、芸術文化活動の「場の整備」や「機会や情報の提供」等の充実を図るとともに、芸術文化団体や関係機関と連携しながら芸術文化施策を推進してきました。
2	荒川区芸術文化振興プランには、区民が教養を高め人間的に一層向上させて頂ける要素が含まれている。身近に芸術文化に接することが出来る環境を嬉しく思う。	今後も、基本理念「区民が主役の芸術文化の振興により、区民の幸福実感を高めるとともに、荒川区の魅力を外内に発信し、区民・生活・地域が芸術文化でつながるまちを創る。」の実現を目指して、芸術文化施策の一層の充実を図ってまいります。

3	<p>熊本県は1つのマスコットキャラクターで自治体の誇りと芸術文化行政全般の魅力を発信し、地域での収入増加につなげている。こうした例を踏まえ、本プランの3つのキーワードについても、簡明な1つのキャッチフレーズ(標語)を作って活用するほうが効果的と考える。</p>	<p>このたび改正する第三次プランは、これまでの第二次プランにおける取組を評価し、基本理念や、「ひろげる」「たかめる」「つなぐ」の3つのキーワード、基本目標などを継続することとした上で、さらなる芸術文化施策の充実を図っていくプランとしています。</p> <p>いただいたご意見は、地域に根差した魅力の発信や芸術文化施策の一層の推進を図るうえで大変貴重なものと認識しており、本プランのPR等に活かすことを検討します。今後も、本プランの基本理念に基づき、区における芸術文化施策の一層の充実と、荒川区ならではの魅力の発信を強く進めてまいります。</p>	
<p>目標と施策に関する意見</p>			
4	<p>荒川区が日本、さらには世界で認知される地名となるよう、100年の計として、俳句に関する総合的な博物館等の設置や、関係者によるサミットを立ち上げ4年に一度オリンピックのようなイベントを開催するなど検討してはどうか。</p>	<p>荒川区は、松尾芭蕉が奥の細道へと旅立った地であり、全国の関連自治体から成る奥の細道サミットに加入しております。平成27(2015)年3月には、荒川区俳句のまち宣言を行うとともに、荒川区にて「奥の細道千住あらかわサミット」を開催したところです。いただいたご意見につきましては、こういったサミットの今後の開催も含めて検討してまいります。</p> <p>ゆいの森あらかわ内には、俳句関係団体と連携した全国有数の規模である俳句資料を揃えた「現代俳句センター」を開設したほか、平成31(2019)年度には、荒川ふるさと文化館内に奥の細道関連展示の充実を図ることを計画しています。</p> <p>今後も、関係団体等と連携しながら俳句振興事業を積極的に展開し、「俳句のまちあらかわ」そして荒川区の地名を内外に広くアピールしてまいります。</p>	
5	<p>国は地域の博物館等の活用を推進しており、区でも、荒川ふるさと文化館を一層活用して欲しい。</p>	<p>区内には、江戸時代から伝わる伝統的な文化や芸能、伝統工芸技術を受け継ぐ多くの方々があり、荒川ふるさと文化館(以下「文化館」)では、地域の団体等と連携しながら、伝統文化や伝統技術を保存・継承す</p>	

		<p>るとともに、その魅力や価値を広く内外に発信する取組を進めています。また、平成29(2017)年5月には、文化館1階に伝統工芸ギャラリーを新たに整備しました。</p> <p>平成31(2019)年3月は、奥の細道旅立ち330周年の節目であり、これを記念して文化館において奥の細道関連展示の充実を図る計画もあります。</p> <p>今後も、国の動向等も踏まえながら、文化館が中心となって、地域の歴史や伝統文化を学び体験する機会として、学校職人教室や地域の歴史を学ぶ展示、講座の実施に加え、伝統工芸ギャラリーでの体験事業「あらわ座」の実施など、一層の充実を図っていきます。</p>	
6	<p>伝統文化を継続して残すためには稽古の場所が必要であり、区施設が改修工事で使用できなかった時に、他の施設を紹介していただけるとよいと思った。</p>	<p>区では、江戸時代から伝わる日本の伝統的な文化や芸能、伝統工芸技術を受け継ぐ多くの方々があり、地域の団体等と連携しながら、伝統工芸技術職人の継承者育成支援をはじめ、伝統文化や伝統技術を保存・継承する取組を進めています。</p> <p>芸術文化活動を行うサークルや団体を対象としては、区立施設を活動場所や発表場所として貸し出しを行い、区民の皆様の多様な芸術文化活動の支援を図っています。</p> <p>本プランにおいては、施策1-1「芸術文化に触れ親しむ機会の提供や場の整備」の中で、こうした取組を一層進めることとし、また、重点プロジェクト「主役は区民プロジェクト」では、地域団体等と連携しながら伝統文化の保存継承を図る取組を進めることとしています。</p> <p>日常적으로ご利用する施設が改修工事等で利用できない場合は、代替施設のご利用についてできるだけご相談をお受けします。お気軽にお尋ねください。</p> <p>今後も、生涯学習施設やふれあい館など、身近な場所での芸術文化活動の活動場所の提供について充実を図ってまいります。</p>	

7	<p>世界的に活躍する荒川区ゆかりの芸術家については、その方の演奏会や活動を取り上げて区のPRにつなげてはどうか。</p>	<p>区では、ひとつの例ですが、荒川区ゆかりの著名人を観光大使に任命し、様々な場面で区のPRに貢献いただいているほか、講演会等も行っております。また、日暮里出身の作家・吉村昭氏の功績を展示する吉村昭記念文学館を整備しております。区報やホームページ、荒川区芸術文化振興財団が発行する広報誌等でも、著名人の活躍を取り上げてPRに努めています。</p> <p>本プランでは、施策5-3「荒川区らしさの発掘・発信」の中で、荒川区からの芸術文化の発信や、地域の魅力の発掘・発信を進めることとしています。今後も、区民の皆様からも情報をお寄せいただきながら、区ゆかりの芸術家や著名人の方のお力も借りながら、荒川区のさらなるPRを進めていきます。</p>	
---	---	---	--